

工事番号															
市 長		副 市 長		部 長		課 長		係 長		係 員		検 算		担 当	
令和 8 年度 道路メンテナンス事業 川手跨線人道橋補修工事 閲覧設計書															
豊科4564号線 安曇野市 豊科田沢															
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
橋梁補修工 橋面舗装工 樹脂モルタル舗装 A=62.7m2 FRPシート設置工 A=7.0m2 塗替え塗装工 A=49.7m2 呼吸要保護具等費用 一式								施 工 期 間				193 日間			
								起工予定年月日				令和 年 月 日			
								竣工予定年月日				令和 年 月 日			
								契約保証方法				金銭的保証			

総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信 (2) 08.06.01		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 (%) 消費税率 (%) 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増 週休 2 日補正	40 10 % 10 橋梁保全工事 09 補正無し 09 補正無し 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し 09 週単位 (土日)		

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊					
橋梁保全工事					
		式			
舗装工					
		式			
構造物取壊し工					
		式			
既設舗装はぎ取り					
	63	m ²			工種 第0001号表
橋面防水工					
		式			
橋面防水					
	69	m 2			工種 第0002号表
薄層カラー舗装工					
		式			
調整モルタル工					
	63	m 2			工種 第0003号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
薄層カラー舗装					工種 第0004号表
	63	m 2			
シール工					
		式			
シール工					工種 第0005号表
	61	m			
橋梁付属物工					
		式			
FRPシート設置工					
		式			
素地調整					工種 第0006号表
	7	m 2			
FRPシート設置					工種 第0007号表
	7	m 2			
現場塗装工					
		式			
橋梁塗装工					
		式			

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
素地調整					
	43	m 2			工種 第0008号表
塗替塗装工					
	50	m 2			工種 第0009号表
構造物撤去工					
		式			
運搬処理工					
		式			
殻運搬					
	2	m 3			工種 第0010号表
殻処分					
	4	t			工種 第0011号表
仮設工					
		式			
任意仮設工					
		式			
仮囲い					
	1	式			工種 第0012号表

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
交通誘導警備員									工種 第0013号表	
	4		人	日						
** 直接工事費 **										
技術管理費										
技術管理費										
技術管理費				式						
技術管理費				式						
溶出試験									工種 第0014号表	
	1		式							
安全費										
安全費										
				式						
安全費										
				式						

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
呼吸用保護具等費用						
			式			
呼吸用保護具等費用 鉛含有塗膜対応 資機材一式						
	1		式			
＊ ＊ 現場環境改善費（率分） ＊ ＊						
率 0.0146						
＊ ＊ 共通仮設費率計算額 ＊ ＊						
補正無の率 0.2732			補正後の率 0.2787			
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ ＊ 現場管理費 ＊ ＊						
補正無の率 0.6588			補正後の率 0.6786			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 工事原価 ***						
*** 一般管理費等 ***						
補正無の率 0.2340			前払率補正 1.0000			
			契約保証補正 0.0004			
*** 工事価格計 ***						
*** 消費税等相当額計 ***						
率 0.1000						
*** 工事費計 ***						
(参考) 直接工事費のうち労務費						
(参考) 直接工事費のうち材料費						
(参考) 現場管理費のうち法定福利費						
率 0.0387						
(参考) 現場管理費のうち建退協制度の掛金						

*** * * 本工事費 * * ***

(工事費内訳書)

[illegible]

既設舗装はぎ取り

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0010

[illegible]

橋面防水

工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0011

[illegible]

調整モルタル工

工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0012

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0004号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
薄層カラー舗装工 樹脂モルタル舗装工 8を超え10mm以下 時間的制約なし						施工 第0 -0003号表
		1	m 2			
*** 単位当り ***						
		1	m 2			

シール工

工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0014

[illegible]

素地調整

工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0015

[illegible]

工種明細表

工種 第0007号表

[illegible]

素地調整

工種明細表

工種 第0008号表

頁0-0017

[illegible]

塗替塗装工

工種明細表

工種 第0009号表

頁0-0018

[illegible]

殼運搬

工種明細表

工種 第0010号表

頁0-0019

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0011号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 処分費等 *						
処分費						施工 第0 -0005号表
		1	t			
* * * 単位当り * * *						
		1	t			

工 種 明 細 表

工種 第0012号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
作業囲い						
		1	式			
*** 単位当り ***						
		1	式			

工 種 明 細 表

工種 第0013号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
列車見張り員						
		1	人			
*** 単位当り ***						
		1	人日			

溶出試験

工種明細表

工種 第0014号表

頁0-0023

[illegible]

既設舗装はぎ取り

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0001号表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.04	人			
特殊作業員	0.08	人			
普通作業員	0.09	人			
諸雑費	3	%			
*** 単位当り ***	1	m ²			

調整モルタル工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0002号表

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整モルタル工 施工手間	1	m ²			
ポリマーセメントモルタル	0.015	m 3			
*** 単位当り ***	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0026

薄層カラー舗装工

樹脂モルタル舗装工 8を超え10mm以下 時間的制約なし

施工 第0 -0003号表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
薄層カラー舗装工 樹脂モルタル舗装工 厚8mm超え 10mm以下	1.000	m ²			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m2			
施工区分：樹脂モルタル舗装工 8を超え10mm以下 施工規模：施工規模50m ² 以上 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし			施工場所：施工場所による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし		

施工内訳表

頁0-0027

殻運搬

施工 第0 -0004号表

ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 14.4km以下

1

m 3 当り

機械構成比： 40.77%

労務構成比：

44.82%

材料構成比： 14.41%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 1 0 t 積級	40.77%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	44.82%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.41%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：14.4km以下		

処分費

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0005号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

位置図



特記仕様書

工事名：令和８年度 道路メンテナンス事業 川手跨線人道橋補修工事
箇所名：安曇野市 豊科田沢

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

- (1) 工事概要は金抜き設計書のとおりとする。
- (2) 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施にあたっては、「電子納品に係る実施要領」によるものとする。
- (3) 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。利用にあたっては、「情報共有システム実施要領」によるものとする。
- (4) 本工事は週休２日工事の対象工事である。「安曇野市週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
(参考)「安曇野市週休２日工事実施要領」
- (5) 本工事は「ＩＣＴ活用工事の実施方針」に基づき、ＩＣＴ技術の活用が可能な建設工事である。実施にあたっては、各工種の「ＩＣＴ活用工事実施要領（国土交通省）」によるものとする。
(参考)「ＩＣＴ活用工事の実施方針・実施要領」
- (6) 本工事は、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。
(参考)「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」
- (7) 上記(2)(5)(6)の実施または活用の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙－２『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

2 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から起算して 193 日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	60 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数	0.77

著しい悪天候や気象状況より工程が過去５年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 発生土・廃棄物関係

- (1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

- (2) 建設発生土 【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
〇〇	円/m ³	〇〇 km	

上記の搬出先について、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。

- (3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)	距離		12.8 km
			数 量	4	t	・ m ³	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
	二次 製品	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

- (4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
木くず (抜根・伐採材)		再利用	処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
汚 泥			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
その他（金属くず他）			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 — 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

※伐採材については、有価売却を検討すること。

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記(3)、(4)に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。（ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。）	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様

あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- ① 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- ② 不可視部分の施工は監督員の立ち合い確認を求めること。
- ③ 本工事はJRの近接工事となるため、必要書類を作成のうえ協議後に施工を開始すること。
※近接協議には時間がかかる可能性があるため、余裕も持って作成すること。
- ④ 通路部での施工は作業囲いの内側でのみ実施すること。
なお、作業囲いの設置・撤去時は列車見張り員を設置すること。
- ⑤ 本工事は通行止めを想定しているため、沿線住民及び関係機関に事前周知すること。
- ⑥ 塗膜片の処分については、溶出試験を実施のうえ試験結果に基づき適正に処分すること。
- ⑦ 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を完了時までには報告すること。
- ⑧ 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。

ア 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙ー5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。

選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

イ この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。

積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。

ウ この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。

エ 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。

オ 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。

- ⑨ その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和7年7月1日適用版

資材単価等について

令和8年度 道路メンテナンス事業 川手跨線人道橋補修工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和8年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

川手跨線人道橋補修設計 工事数量総括表（安曇野市）

No. 1

					事業区分		橋梁保全
					工事区分(1)		橋梁保全
工種(2)	種別(3)	細別(4)	規格(5)	単位	設計値	計算値	摘要
橋面舗装工							
	構造物取壊し工	既設舗装はぎ取り		m2	63	62.7	
	床版防水工	複合防水工	高性能ポリマーセメント系 防水工法	m2	69	68.8	
	薄層舗装工	調整モルタル工	t=15mm	m2	63	62.7	
		薄層舗装	樹脂モルタル舗装 t=10mm	m2	63	62.7	
シール工							
	シール工	舗装端部・遊間部	高耐候1成分形 ポリウレタン系シーリング材	m	61	60.8	
紫外線硬化型 FRPシート設置工							
	紫外線硬化型 FRPシート設置工	素地調整	2種ケレン	m2	7	7.0	
		紫外線硬化型 FRPシート	ポリエステル樹脂製	m2	7	7.0	
塗装工							
	鋼部材塗替塗装工	素地調整	3種ケレンB	m2	43	42.7	
		塗装工	再腐食進行抑制型 防食塗装工法	m2	50	49.7	タイタンコート 同等品

床版防水工・舗装工

[illegible]

シーリング工（舗装端部・遊間部）

[illegible]

紫外線硬化型FRPシート設置工

種別(3)	細別(4)	規格(5)	計算式	数量
紫外線硬化型FRPシート設置工			『補修詳細図（その2）-紫外線硬化型FRPシート設置工』より	
	素地調整	2種ケレン	A = 6.971	7.0 m2
	紫外線硬化型FRPシート	ポリエステル樹脂製	A = 6.971	7.0 m2

鋼部材塗替塗装工

種別(3)	細別(4)	規格(5)	計算式	数量
鋼部材塗替塗装工			『補修詳細図(その3) — (その4)』より	
	素地調整	3種ケレンB	P2-P3通路部内面:A = 49.706	
			FRPシート設置個所2種ケレン控除:A = 6.971	
			合計 49.706-6.971 = 42.735	42.7 m2
	塗装工	再腐食進行抑制型 防食塗装工法	P2-P3通路部内面:A = 49.706	49.7 m2

--

溶出試験 (25項目)

種別(3)	細別(4)	規格(5)	計算式	数量
溶出試験 (25項目)				
	前処理 溶出液作成料	溶出試験用		1 検体
1	アルキル水銀	溶出試験		1 検体
2	総水銀	溶出試験		1 検体
3	カドミウム	溶出試験		1 検体
4	鉛	溶出試験		1 検体
5	有機リン	溶出試験		1 検体
6	六価クロム	溶出試験		1 検体
7	ひ素	溶出試験		1 検体
8	シアン	溶出試験		1 検体
9	PCB	溶出試験		1 検体
10	チウラム	溶出試験		1 検体
11	シマジン	溶出試験		1 検体
12	チオベンカルム	溶出試験		1 検体
13	セレン又はその化合物	溶出試験		1 検体
14	1, 4-ジオキサン	溶出試験		1 検体
15	トリクロロエチレン	溶出試験		1 検体
16	テトラクロロエチレン	溶出試験		1 検体
17	ジクロロメタン	溶出試験		1 検体
18	四塩化合物	溶出試験		1 検体
19	1, 2-ジクロロエタン	溶出試験		1 検体
20	1, 1-ジクロロエチレン	溶出試験		1 検体
21	1, 1, 1-トリクロロエタン	溶出試験		1 検体
22	1, 1, 2-トリクロロエタン	溶出試験		1 検体
23	1, 3-ジクロロプロペン	溶出試験		1 検体
24	ベンゼン	溶出試験		1 検体
25	シス-1, 2-ジクロロエチレン	溶出試験		1 検体

側面図 S=1:200
終点側

橋面：調整モルタル工、床版防水工、鋪装復旧工、橋面内面塗替え塗装工・磨食箇所補修工

通路部桁長 27600

通路部支間長 24900

1972

5404

1900

6348

1200

250 2200 250

1000

P2

P1

A1

P3

P4

A2

構造：調整モルタル工、床版防水工、舗装復旧工、橋面内面塗替え塗装工・腐食箇所補修工

通路部桁長 27600

通路部支間長 24900

250 2200 250

1200

1000

1930 1972

5488

1722

1500

1972

6043

P3

P4

A2

P2

P1

A1

Technical drawing of a bridge structure, showing a plan view and a cross-section.

Plan View Dimensions:

- Overall Length: 25190
- Overall Width: 14200
- Bridge Deck Length: 24900
- Bridge Deck Width: 14200
- Bridge Pier Length: 27600
- Bridge Pier Width: 24900

Cross-Section Dimensions:

- Bridge Height: 14200
- Bridge Width: 25190

Labels and Notes:

- 上 (Up)
- 下 (Down)
- JR線ノ井線 (JR Line No. 137)
- 橋面 (Bridge Deck)
- 橋脚 (Bridge Pier)
- 橋梁 (Bridge)
- 市道豊科4137号線 (Municipal Road No. 4137, Toyokata)
- 至 (国) 19号 (To National Route 19)
- 至 小瀬川 (To Kosegawa)

[illegible]

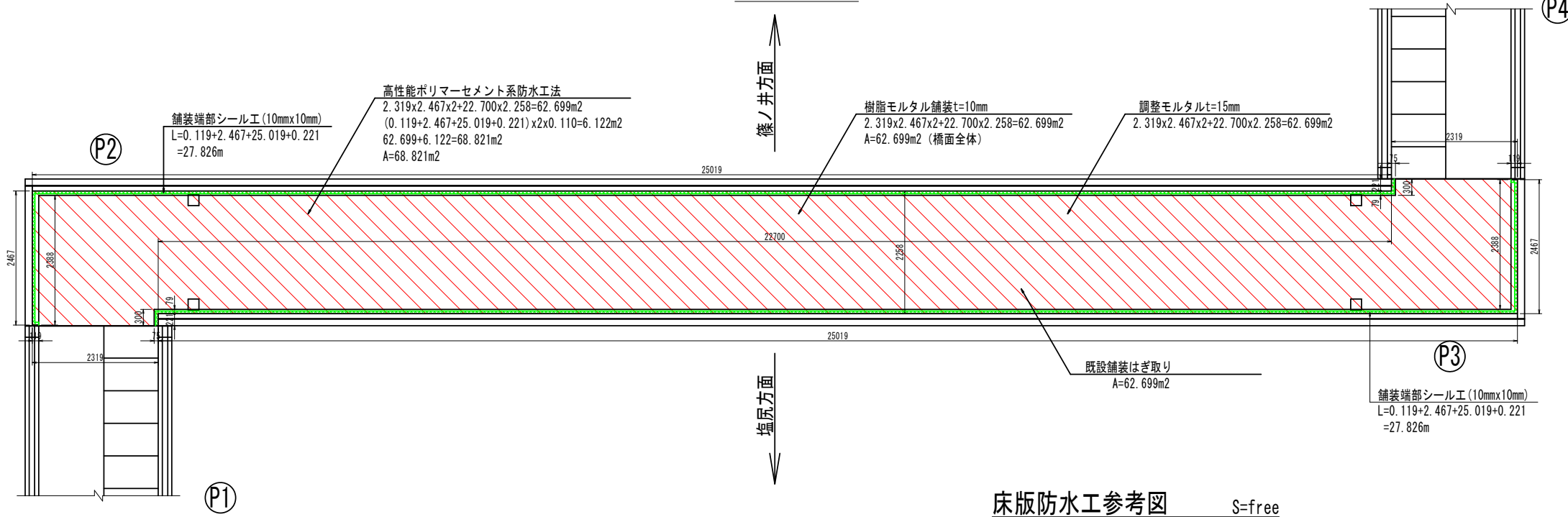
部材	工種	対象箇所	補修工法
鋼部材 全 体	素地調整	全鋼部材	3種ケレンB（FRPシート設置部のみ2種ケレン）
	塗替装工		再腐食進行抑制型防食塗装工法（タイタニウム防錆塗装工法）
	腐食箇所補修工		紫外線硬化型FRPシート設置工
	調整モルタル工		調整モルタル打設t=15mm
橋 面	床版防水工	橋面部全体	高性能ポリマーセメント系複合防水工法
	鋪装復旧工		遡原鋪装t=10mm

令和 8 年度				道路メンテナンス事業			
				川手跨線人道橋補修工事			
番号	1/6	補修一般図		縮尺	図示		
市道豊科4564号線 安曇野市 豊科田沢							
設計会社							
測量会社							
調査会社							
安曇野市 都市建設部 維持管理課							
現場制約事項		1 JR協議有 2 小学校通学路					
有り	無し						

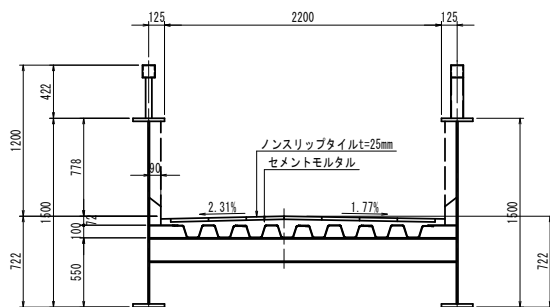
川手跨線人道橋 補修詳細図（その1）

橋面補修工

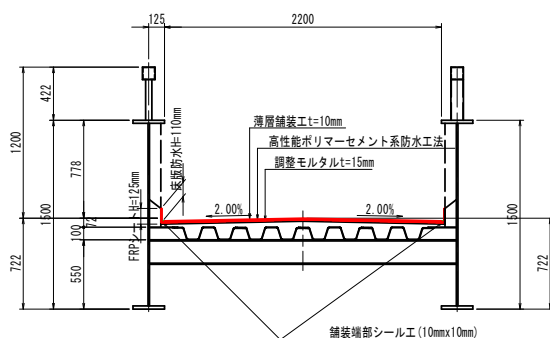
平面図 S=1:50



補修前 S=1:30



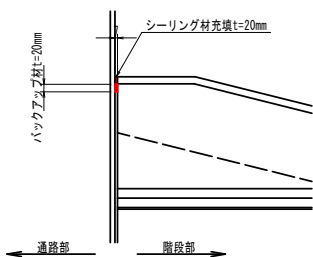
補修後 S=1:30



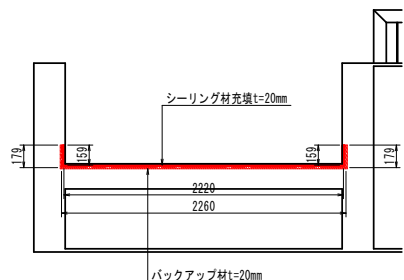
遊間部止水工詳細図

超耐シーラーTF2000同等品

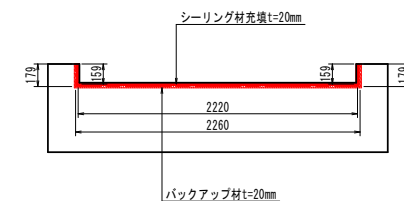
遊間部断面図 S=1:10



通路部側断面 S=1:30



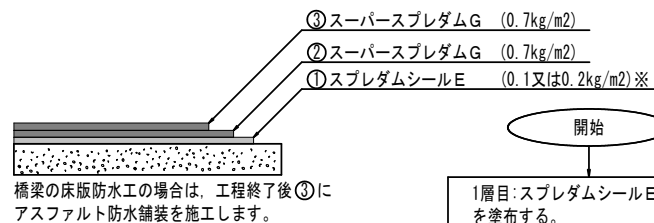
階段部側断面 S=1:30



床版防水工参考図

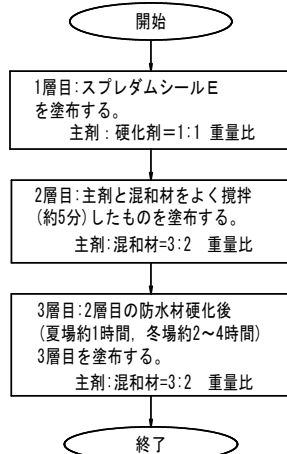
S=free

スーパーブレダム工法同等品



工程および使用量	
工程	塗布量
① スプレダムシール E	※
② スーパーブレダム G	0.7kg/m2
③ スーパーブレダム G	0.7kg/m2

※下地がコンクリートや
吸い込みがある場合・・・0.2kg/m2
鉄部の場合・・・0.1kg/m2



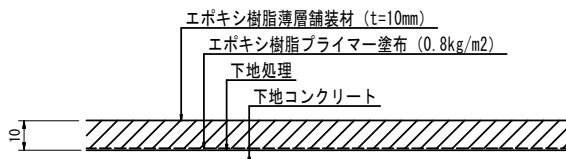
【特記事項】

- 床版防水工は、浸透と塗膜による複合防水を選定している。
- 橋面舗装は、既存のノンスリップタイルを全撤去した後、薄層舗装t=10mmにて復旧する。
- 施工順序として、タイル撤去、モルタルはつり実施後、地覆部補修として、FRPシートの硬化を確認した後、調整モルタル打設、床版防水層の設置、舗装復旧を行う。
- 既設タイル剥ぎ取り後、床版上面の状態を確認し、床版のコンクリートにひび割れ、断面欠損などの損傷が確認された場合には、監督員と協議のうえ補修を実施した後、施工すること。床版上面の損傷が残置された状態で防水工などを実施すると早期劣化の原因となる。
- 工事着手前に、現場の再計測を実施し、施工範囲を確認すること。
- 施工手順および仕様は、使用製品の施工要領書に準拠すること。

薄層舗装工断面参考図

S=free

レジンファルトソフト同等品



薄層舗装材規格値

項目	試験方法	規格値
比重	水中置換法	2.10±0.10
圧縮強度	JIS A 1108	4.0 N/mm2以上
圧縮弾性係数	JIS A 1108	500 N/mm2以下
曲げ強度	JIS R 5201	4.0 N/mm2以上

技術データ

高耐候I成分形ポリウレタン系シーリング材	
1成分形ポリウレタン	
比重	
1.35	
押し出し性(sec)	23℃
	3
指触乾燥時間(h)	5℃
	6
指触乾燥時間(h)	タイプ
	通年用
指触乾燥時間(h)	23℃
	8
指触乾燥時間(h)	5℃
	3
促進耐候性 (サンシャインウェザーメーター4000hr)	通年用
	36
促進耐候性 (サンシャインウェザーメーター4000hr)	冬用
	10
異常なし	

JIS A 1439に準拠

【遊間部止水工】

名称	箇所	単位	数量	摘要
高耐候I成分形ポリウレタン系シーリング材	P2遊間部	m	0.159+2.220+0.159=2.538	
		L	0.007x0.020x2.538x1.35x1000x1.2=0.576	ロス率20%
	P3遊間部	m	0.159+2.220+0.159=2.538	
		L	0.007x0.020x2.538x1.35x1000x1.2=0.576	ロス率20%
バックアップ材	P2遊間部	L	合計=0.576+0.576=1.152	
		m	0.179+2.260+0.179=2.618	
	P3遊間部	m	0.179+2.260+0.179=2.618	
		m	合計=2.618+2.618=5.236	

実施図

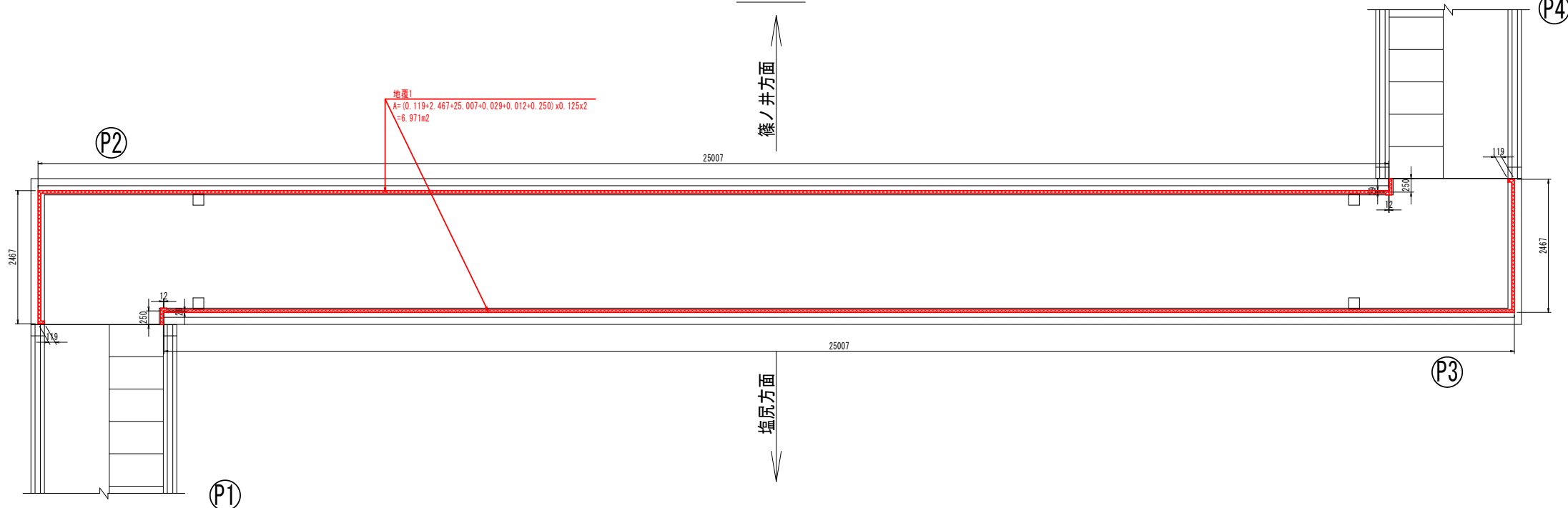
令和8年度 道路メンテナンス事業				
川手跨線人道橋補修工事				
番号	2/6	補修詳細図1	縮尺	図示
市道豊科4564号線				
安曇野市 豊科田沢				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 都市建設部 維持管理課				

現場制約事項	
1	JR協議有
2	小学校通学路
有り	無し

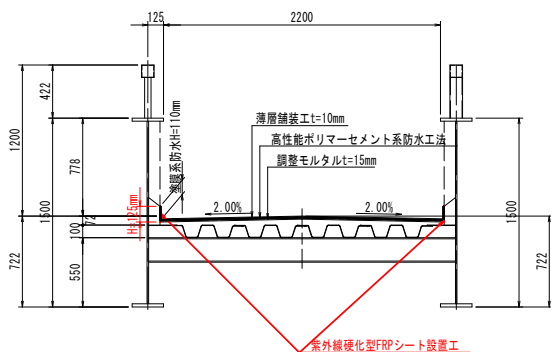
川手跨線人道橋 補修詳細図（その2） S=1:50

紫外線硬化型FRPシート設置工

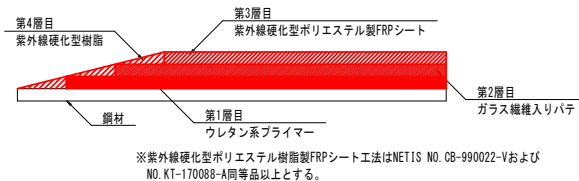
平面図



通路部断面図 S=1:30



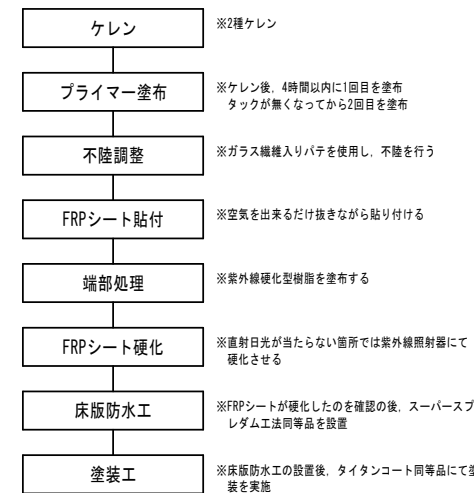
FRPシート設置工 断面図



紫外線硬化型FRPシート設置工数量表

設置箇所	設置寸法	設置数	単位	貼付数量	2種ケレン数量
地覆1	0.125x27.884	2	m2	6.971	6.971
合計			m2	15.942	15.942

FRPシート設置工 フロー図



実施図

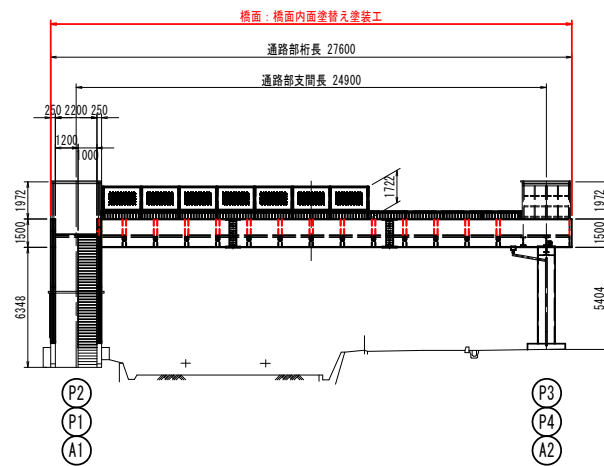
令和8年度 道路メンテナンス事業			
川手跨線人道橋補修工事			
番号	3/6	補修詳細図2	縮尺 図示
市道豊科4564号線			
安曇野市 豊科田沢			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 JR協議有		
	2 小学校通学路		
有り	無し		

【特記事項】

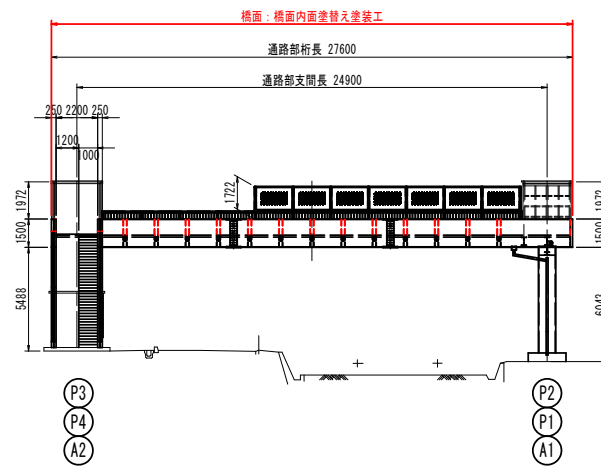
- 橋面地覆部、階段部内面および階段接合部下面の補修後の再劣化が生じやすい箇所において、紫外線硬化型FRPシートを設置し、経年的な腐食進行の抑制を行う。
- 本工程は、塗装と併せて行う。塗装と併せて行う場合は、3種ケレンとなるが、FRPシート設置範囲については、2種ケレンを標準とする。
- 工事着手前に、現場の再計測を実施し、施工範囲を確認すること。
- 施工手順および仕様は、使用製品の施工要領書に準拠すること。

川手跨線人道橋 補修詳細図 (その3)
塗替え塗装工実施範囲図

側面図 S=1:200
起点側

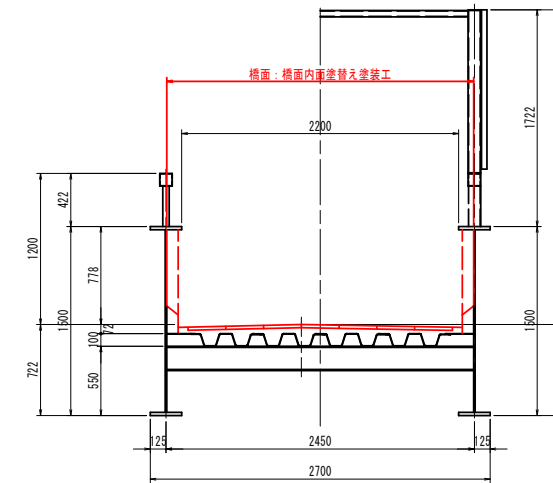


側面図 S=1:200
終点側



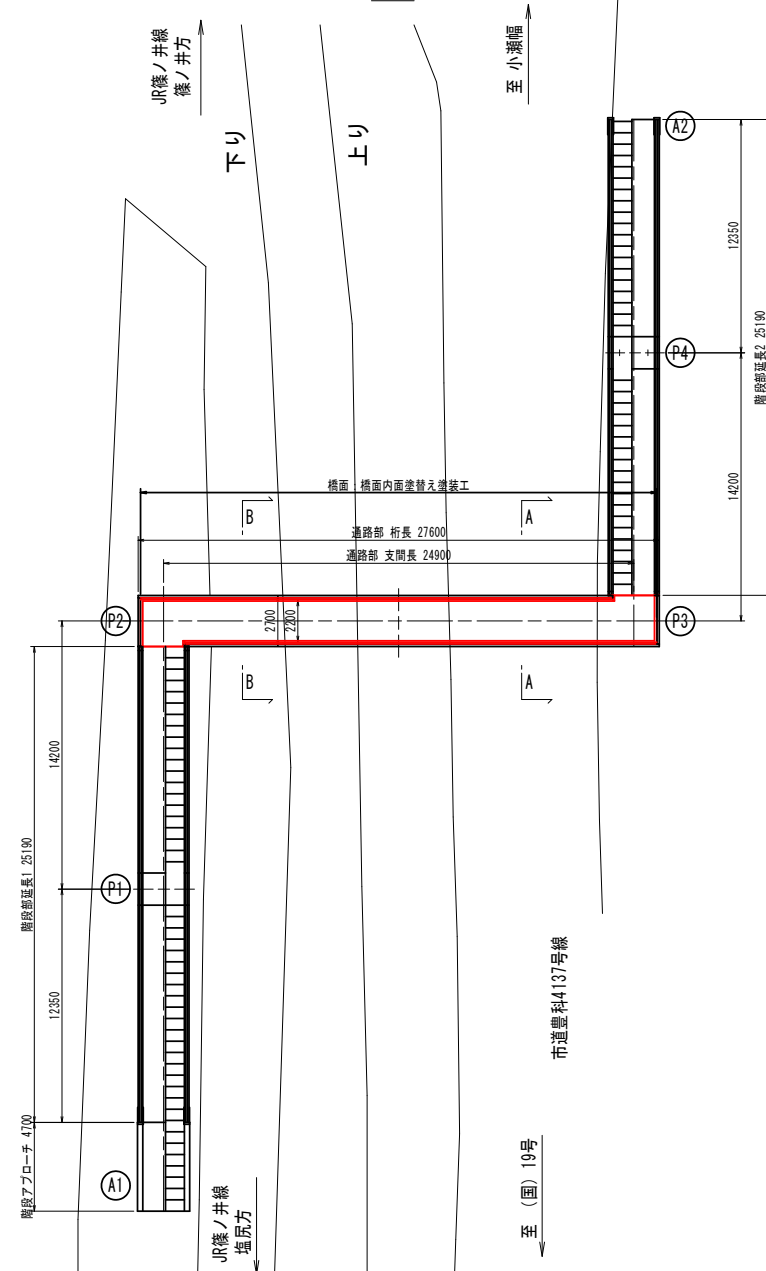
断面图 S=1:30

A-A B-B

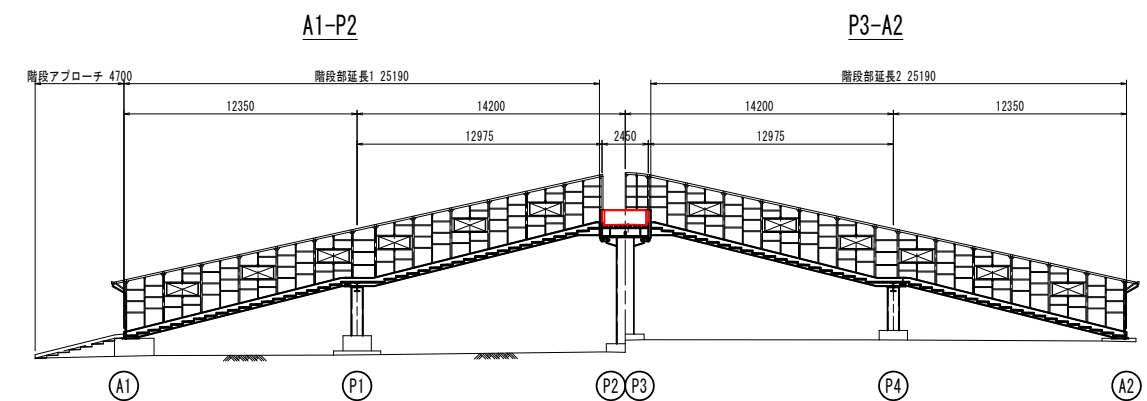


平面图 S=1:200

上面



内側側面図 S=1:200



実施図

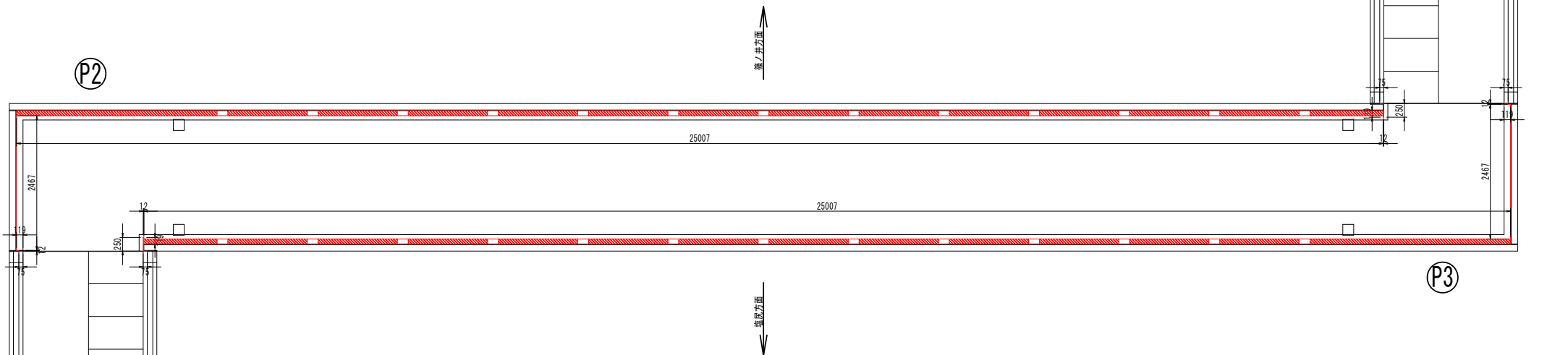
令和8年度				道路メンテナンス事業			
川手跨線人道橋補修工事							
番号	4/6	補修詳細図3			縮尺	図示	
市道豊科4564号線							
安曇野市 豊科田沢							
設計会社							
測量会社							
調査会社							
安曇野市 都市建設部 維持管理課							

現場制約事項	1 JR協議有
	2 小学校通学路
有り	無し

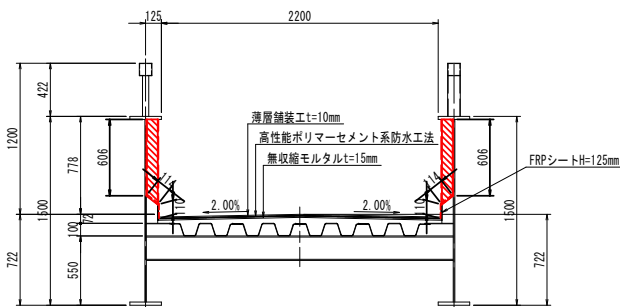
川手跨線人道橋 補修詳細図（その4）

塗替え塗装工詳細図
通路部内面

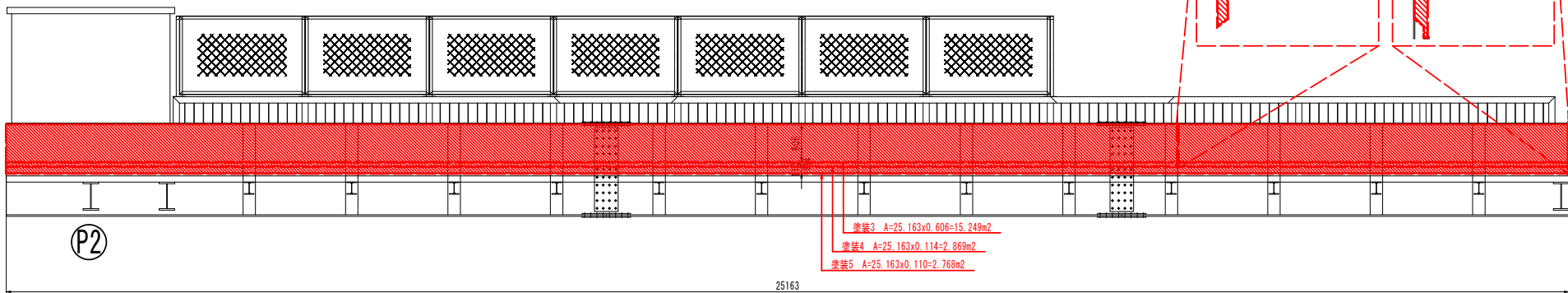
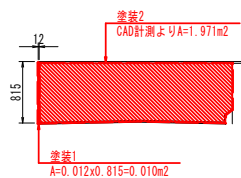
平面図 S=1:50



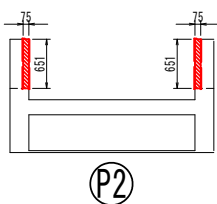
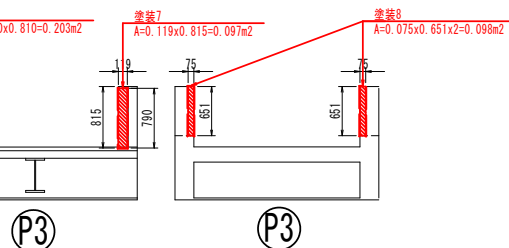
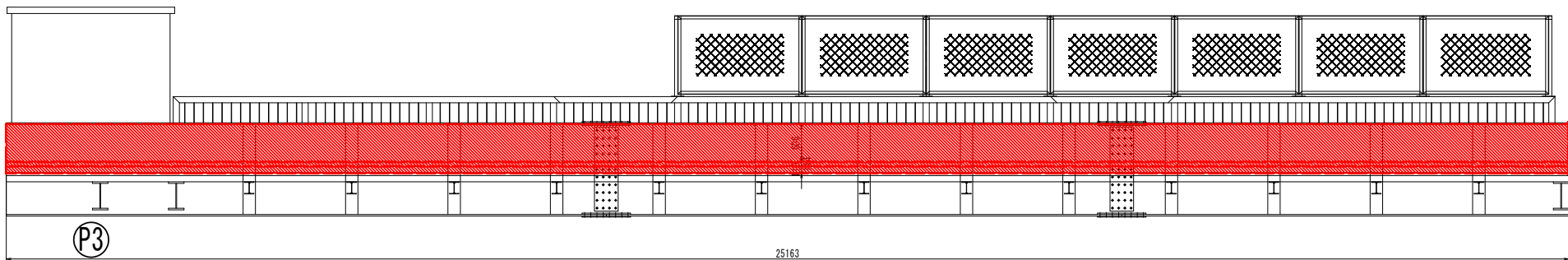
断面図（補修後）S=1:30



通路部内面（篠ノ井方面側）S=1:50



通路部内面（塩尻方面側）S=1:50



【安曇野市塗装数量計算表 (P2-P3)】

箇所	算出根拠	単位	数量	摘要
通路部内面（篠ノ井方面側）	塗装1	A=0.012x0.815=0.010m2	m2	0.010
	塗装2	CAD計測よりA=1.971m2	m2	1.971
	塗装3	A=25.163x0.606=15.249m2	m2	15.249
	塗装4	A=25.163x0.114=2.869m2	m2	2.869
	塗装5	A=25.163x0.110=2.768m2	m2	2.768
	塗装6	A=0.250x0.810=0.203m2	m2	0.203
	塗装7	A=0.119x0.815=0.097m2	m2	0.097
	塗装8	A=0.075x0.651x2=0.098m2	m2	0.098
	塗装9	CAD計測よりA=0.058m2/箇所 A=0.058x26=1.508m2	m2	1.508
	塗装10	CAD計測よりA=0.080m2	m2	0.080
通路部内面（塩尻方面側）	小計1		m2	24.853
	小計2	A= 篠ノ井方面側数量と同面積 =24.853m2	m2	24.853
	合計		m2	49.706

鋼部材塗替塗装仕様

対象部材：主桁（通路部内面）、地覆、P4支承、P4橋脚、階段（A1-P2内面、P3-A2内外面）
塗替塗装仕様：タイタンコート防錆塗装工法（3種ケレンB）+素地調整粉塵軽減剤

塗装工程	塗料名	塗装回数	塗布量 (kg/m ² /回)	塗装間隔	膜厚 μm
清掃・水洗い	※現場環境で必要となった場合				
素地調整	3種ケレンB+素地調整粉塵軽減剤		0.15		
表面皮膜処理	脱脂剤兼用防錆被覆処理剤	1	(0.04)	5分間以上 24時間以内	—
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	1	0.10	4時間以上 10日以内	60
下塗	変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗	1	0.10	16時間以上 10日以内	60
中塗	弱溶剤系無機フッ素樹脂塗料用中塗	1	0.14	4時間以上 7日以内	50
上塗	弱溶剤系無機フッ素樹脂塗料	1	0.14	16時間以上	45

【特記事項】

- ・塗装面積について、施工の際に起工測量を行い塗装面積を決定されたい。
- ・塗替塗装に伴う素地調整は現場条件より3種ケレンBを使用すること。素地調整の善し悪しは塗替寿命に大きく影響するため、極力錆が残らないよう入念に素地調整を行うこと。ケレンの際には事前に粉塵軽減剤を塗布すること。
- ・塗装前には、付着塩化物量が50mg/m²以下になっていることを確認した後、塗装を実施するものとする。
- ・本橋に使用されている塗膜は鉛の含有が懸念されるため、労働安全衛生法「鉛中毒予防規制」の適用を受ける。
- ・塗替塗装に伴う作業面は、塗膜カスの粉塵が外部へ飛散しないような設備とする。
- ・安全対策設備の例として、防護服・保護具の装着、洗浄装置であるクリーンルームおよびエアシャワーの設置、換気設備の配置等が挙げられる。
- ・塗膜カスは、溶出量試験を実施し適正に処分すること。
- ・右表「特別管理産業廃棄物の基準」に記載する基準値以上の鉛、六価クロム化合物、砒素又はその化合物が検出された場合は特別管理産業廃棄物として処分すること。基準値以下である場合は産業廃棄物として処分すること。

特別管理産業廃棄物の基準

項目	基準値
鉛	0.3mg/l
六価クロム化合物	1.5mg/l
砒素又はその化合物	0.3mg/l

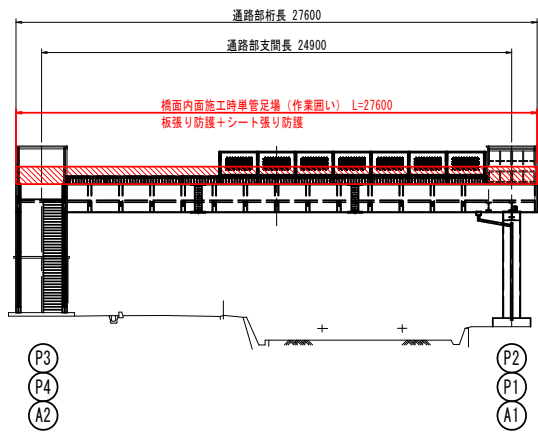
実施図

令和8年度 道路メンテナンス事業				
川手跨線人道橋補修工事				
番号	5/6	補修詳細図4	縮尺	図示
市道豊科4564号線				
安曇野市 豊科田沢				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 都市建設部 維持管理課				

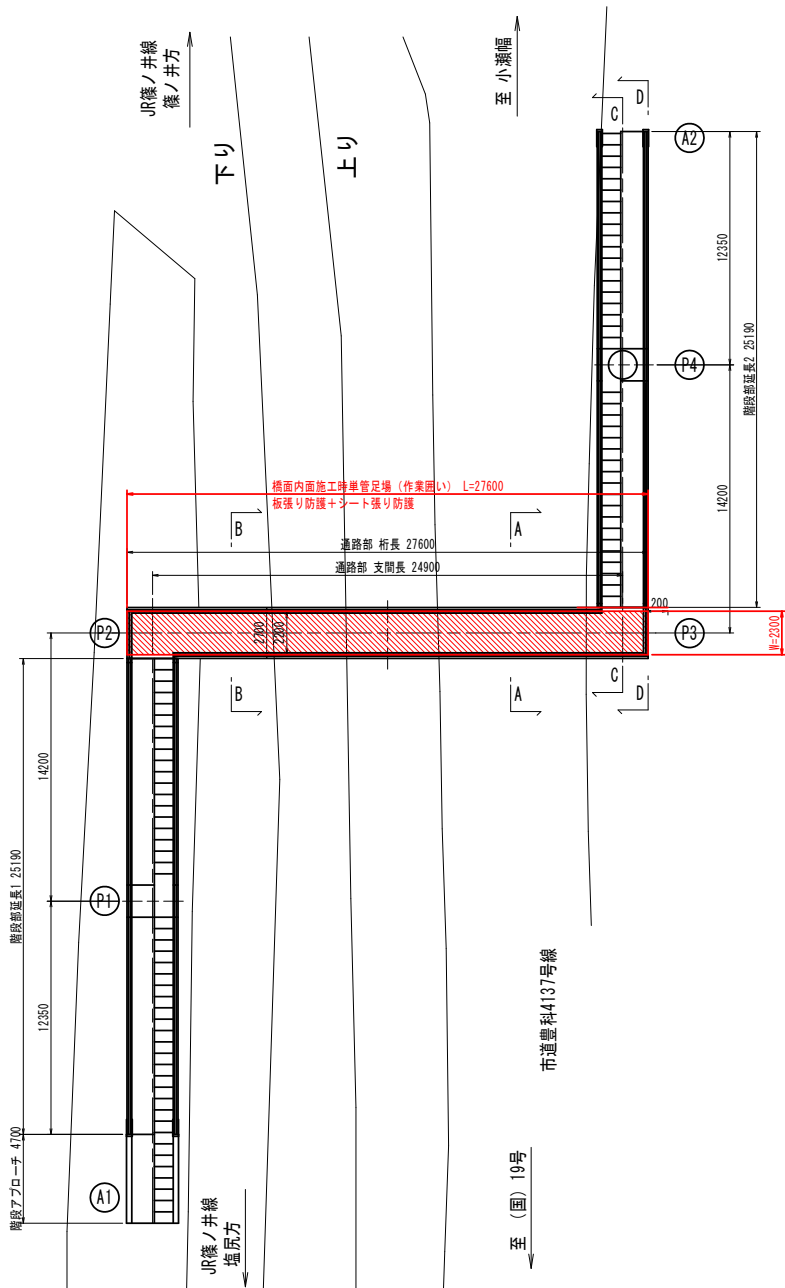
現場制約事項	1 JR協議有
	2 小学校通学路
有り	無し

川手跨線人道橋 仮設参考図

側面図 S=1:200
終点側

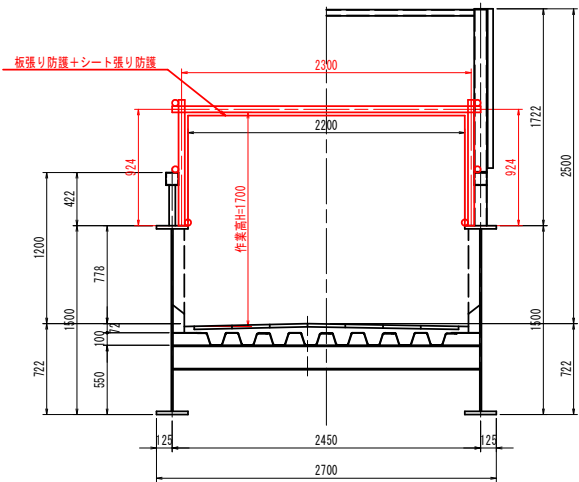


平面図 S=1:200



断面図 S=1:30

A-A B-B
橋面内面施工時単管足場(作業囲い)



橋面内面施工時単管足場(作業囲い) 数量
A=2.300x27.600=63.480掛m2
板張り防護+シート張り防護
A=63.480+0.924x2x27.600=114.485m2

実施図

令和8年度 道路メンテナンス事業				
川手跨線人道橋補修工事				
番号	6/6	補修詳細図4	縮尺	図示
市道豊科4564号線				
安曇野市 豊科田沢				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 都市建設部 維持管理課				
現場制約事項	1 JR協議有			
	2 小学校通学路			
有り	無し			